第 12 講　【近世編】主権国家の形成
PART1 主権国家体制の形成 1

Chapter 1　イタリア戦争と主権国家の形成

目標
近世ヨーロッパで，どのように主権国家が成立していったのかを学ぼう。
イタリア戦争の歴史的な意義を理解しよう。

1　主権国家体制

16 世紀になると，ヨーロッパには**主権国家**と呼ばれる新しい国家群が出現し，主権国家を中心とする国際秩序（主権国家体制）が成立した。

①主権国家出現の背景

A　**ローマ教皇**や**神聖ローマ皇帝**など，超国家的な権威の衰退

B　国家群が国内の統一を強化し，国内における最高権力**主権**を主張

②主権国家とは

A　国家は互いに対等であり，国家間の紛争は戦争で解決する
　※外交と戦争によって，一国が強大化しないように牽制。

B　国家群が互いに主権を承認し合って国際関係を展開

C　王権を絶対的なものとする政治体制〔　　　　　　　　〕をとる

あ　王権は神から与えられた神聖不可侵なものであるという〔　　　　　　　　　　〕により，絶対王政を正当化
　※実際には，国王はギルド，都市・村落共同体などの**中間団体**を介して統治。

い　国王の政治を補佐する**官僚制**と，国王の軍隊**常備軍**を整備

う　国家が積極的に経済に介入する〔　　　　　　　　〕政策をとる

え　商業資本家が**問屋制**家内工業，**マニュファクチュア**（工場制手工業）を展開

2　イタリア戦争

1494 年　フランス王**シャルル 8 世**がイタリアへ侵入し，**イタリア戦争**が勃発
　※イタリアの諸都市，スペイン，神聖ローマ帝国が同盟を結び，フランスと戦う。

1519 年　**ハプスブルク家**のスペイン王〔　　　　　　　　　　〕が，ヴァロワ朝のフ

ランス王**フランソワ１世**を抑え，**神聖ローマ皇帝**（カール５世）に選出される

→ハプスブルク家の強大化を恐れるイタリア諸都市，イギリス，さらにはオスマン帝国がフランス側につき，戦いが激化

1527 年　神聖ローマ皇帝カール５世がローマを襲撃，破壊

※ローマ教皇がフランス側についたことがきっかけ。

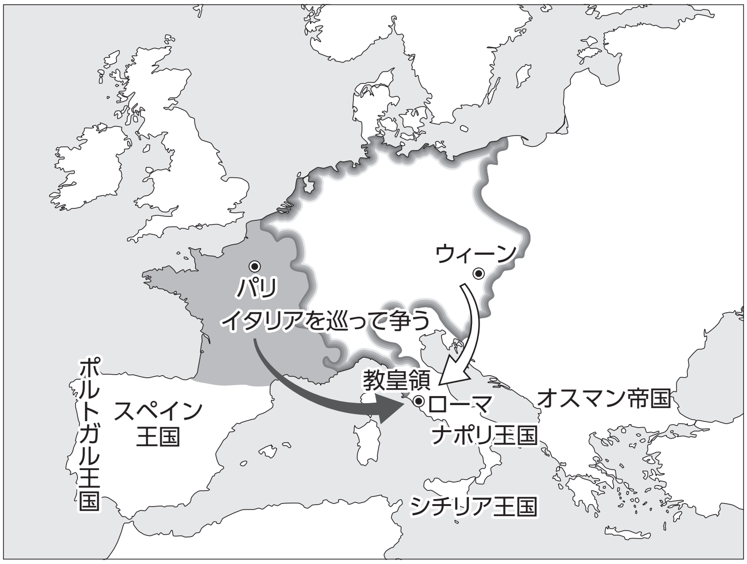
→イタリア＝ルネサンスが衰退する一因となる

1559 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕で和議が成立

※フランス王アンリ２世，スペイン王**フェリペ２世**，イギリス王**エリザベス１世**の間で締結。

※ハプスブルク家はミラノ，ナポリなどを領有。フランスはイタリア支配を断念。

イタリア戦争は主権国家間の最初の戦争で，主権国家体制成立のきっかけとなった



イタリア戦争の構図

まとめ

多くの主権国家は絶対王政をとって支配を正当化し，官僚制と常備軍を整備して中央集権化を進めていった。

イタリア戦争は，神聖ローマ帝国のハプスブルク家とフランスのヴァロワ家による，主権国家間で行われた初めての戦争であった。

Chapter 2　スペインの全盛期

目標　最盛期のスペインがどれほどの領域を支配したのかをおさえよう。
スペインが衰退した理由を理解しよう。

1　スペインの最盛期

①イサベル女王の治世

1479 年　スペイン王国が成立

1492 年　**コロンブス**がアメリカ大陸に到達

②〔　　　　　　　　　　　〕の治世

1516 年　スペイン王となり，スペインにハプスブルク家を開く

1519 年　**神聖ローマ皇帝**カール５世として即位

→スペイン，ドイツにまたがる広大な領土とアメリカ大陸の植民地を支配

1538 年　**プレヴェザの海戦**でオスマン帝国に敗北

1545 年　アメリカ大陸最大の銀山**ポトシ銀山**を発見

→大量の銀がスペインを通してヨーロッパに運ばれ，価格革命をおこす

1555 年　アウクスブルクの宗教和議

1556 年　スペイン王，神聖ローマ皇帝を退位

→ハプスブルク家がスペインとオーストリアの両家に分かれる

③〔　　　　　　　　　　　〕の治世

1556 年　スペイン王として即位

※スペイン，**ネーデルラント**，南イタリア，アメリカ大陸の植民地を相続。

1559 年　**カトー＝カンブレジ条約**を締結。イタリア戦争を終結させる

1571 年　〔　　　　　　　　　　　〕でオスマン帝国の海軍を撃破

1580 年　**ポルトガル**を併合。イベリア半島全域とポルトガルの海外領土を手中にする

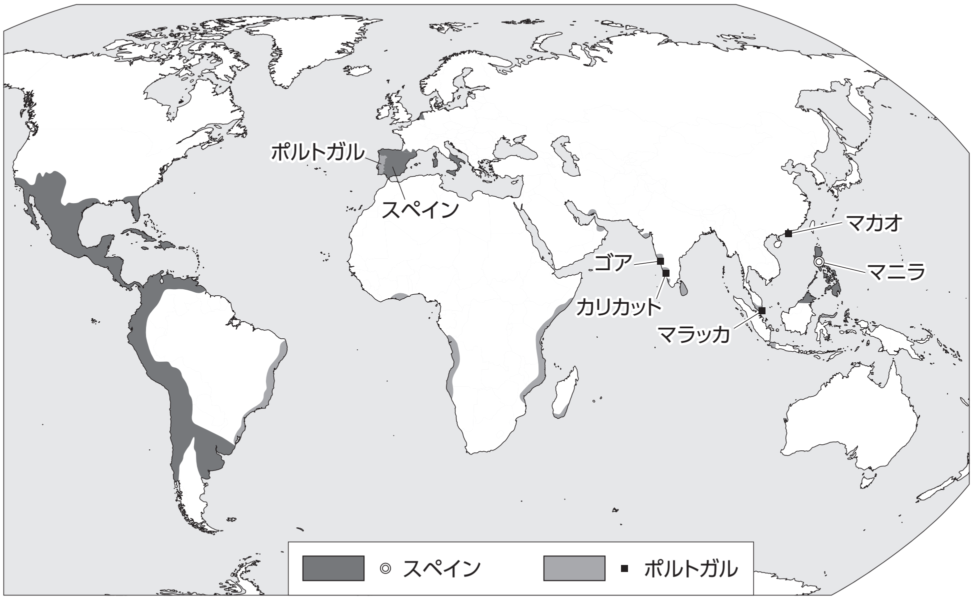
フェリペ２世

※領土が全世界に及び，〔　　　　　　　　　　　〕といわれる。

④フェリペ２世の統治

A　カトリック化政策を強化し，プロテスタントを弾圧

B　イギリス女王メアリ１世との結婚など，婚姻を通してイギリス，フランスの内政に干渉



スペイン最盛期の領域

2　スペインの衰退

17世紀に入ると，外征や宮廷の浪費による財政難などで急速に衰退していった。

①ネーデルラントの抵抗運動

1568年　〔　　　　　　　　　　　　　〕がおこる

1581年　北部７州が独立を宣言，**ネーデルラント連邦共和国**（**オランダ**）を樹立

1609年　オランダと休戦協定を結び，独立を承認

→スペインはネーデルラントの北半分を失う

②イギリスとの戦い

1588年　〔　　　　　　　　　　　〕でイギリスに敗北

※オランダ独立戦争を支援するイギリスに〔　　　　　　　　〕（アルマダ）を派遣するが，撃退されて海上覇権を失う。

まとめ

スペインはポルトガルを併合し，ヨーロッパからアメリカ大陸，アジアを支配して，「太陽の沈まぬ帝国」と呼ばれた。
スペインからオランダが独立し，アルマダの海戦でイギリスに敗れ海上覇権を失ったことで，衰退していった。

第12講　PART 1　確認問題

1　ヨーロッパに主権国家体制が成立するきっかけとなった，15世紀末におこった戦争はどれか。

①　百年戦争　　②　バラ戦争
③　イタリア戦争　　④　三十年戦争

2　王権は神聖不可侵なものであるとする政治体制はどれか。

①　封建制　　②　専制君主政
③　絶対王政　　④　共和政

3　1519年に神聖ローマ帝国の皇帝となった人物はだれか。

①　カルロス１世　　②　フランソワ１世
③　ハインリヒ４世　　④　オットー１世

4　1559年にフランス，スペイン，イギリスの間で締結された条約を何というか。

①　メルセン条約　　②　ヴェルダン条約
③　トルデシリャス条約　　④　カトー＝カンブレジ条約

5　スペインとオーストリアを支配し，神聖ローマ皇帝位も継承した王家はどこか。

①　メディチ家　　②　ハプスブルク家
③　ブルボン家　　④　スチュアート家

6 ポルトガルを併合して広大な植民地を支配し，「太陽の沈まぬ帝国」を手中にしたスペイン王はだれか。

① フェルディナント１世　② ヘンリ８世
③ マクシミリアン１世　④ フェリペ２世

7 オランダ独立戦争において，北部７州が結成した同盟はどれか。

① ユトレヒト同盟　② ロンバルディア同盟
③ カルマル同盟　④ シュマルカルデン同盟

8 1588年にスペインがイギリスに敗北した戦いはどれか。

① プレヴェザの海戦　② レパントの海戦
③ アルマダの海戦　④ サラミスの海戦

第12講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：③　**イタリア戦争**はイタリアにおける覇権を巡る争いで，この戦争をきっかけに主権国家が形成された。

2 解答：③　**絶対王政**は，封建社会から市民社会へ移り変わる 16 ～ 18 世紀のヨーロッパに見られた。

3 解答：①　ハプスブルク家出身のスペイン王**カルロス 1 世**は 1519 年，フランス王フランソワ 1 世を選挙で破り，神聖ローマ皇帝カール 5 世になった。

4 解答：④　1559 年に**カトー＝カンブレジ条約**が結ばれ，イタリア戦争が終結した。

5 解答：②　**ハプスブルク家**は 10 世紀にスイスにおこった家系で，その後オーストリアを拠点に勢力を拡大し，1438 年から 1806 年まで神聖ローマ皇帝位をほぼ世襲した。

6 解答：④　「太陽の沈まぬ帝国」とは，「領土のどこかで常に太陽が昇っている国」という意味。**フェリペ 2 世**のポルトガル併合によって，スペインの領土は全世界に及んだ。

7 解答：①　オランダ独立戦争のさなかの 1579 年，北部 7 州はオランダの**ユトレヒト**で同盟を結成し，信教の自由を得るまで，スペインに対して抵抗を続けることを誓った。

8 解答：③　1588 年，イギリスはスペインの無敵艦隊（**アルマダ**）を撃破した。